

# 自主防災組織を結成したい！ どうしたらいいの？

自主防災組織の結成には、まず、地域の現状を確認することが大切。そして、自治会など地域の皆さんの同意が欠かせません。代表的な流れをまとめてみました。

STEP 1

結成について  
地域で話し合う



自治会の皆さんなどで話し合って、結成の方向性や、地域の防災の必要性を確認しましょう。

STEP 2

地域の現状を確認して  
どんな活動をするか考える



地図を見たり町歩きをして、地域でどんな防災活動が必要なのかを話し合しましょう。

STEP 3

規約・防災計画、役員、  
役割分担の案をつくる



どんな活動をしていくか決まったら、組織の班編成や、会長・各班長などの役割を決めましょう。

STEP 6

地域の皆さんに  
周知・活動開始



防災訓練や地域の見回りなど、災害に備えた平常時の活動をしていきましょう。

STEP 5

市に結成の届出



市に結成の届出をお願いします。また、市では申請により、自主防災組織に毎年補助金を交付しています。

STEP 4

自治会の総会などで  
結成の同意を得る



総会に諮って、自治会としての意思を確認しましょう。

## 自主防災組織結成・地区防災計画策定 支援地区募集

自主防災組織の結成や、地区防災計画の策定に取り組んでみませんか？

**支援内容** 市職員や防災の専門家などが地域に直接出向いて講座やワークショップなどを行い、組織の結成や計画の策定のお手伝いをします。

**対象** 次のいずれかにあてはまる市内の団体  
・現在自主防災組織や地区防災計画がなく、これから結成・策定したい自治会

・地区防災計画を策定したい市内の自主防災組織  
※令和5年度中に結成や策定のための活動ができることが条件となります

※隣接している複数の自治会・自主防災組織で合同での応募も可

**応募方法** 問合先に3月17日（金）までにお電話ください

**選考** 期間内に応募いただいた団体の中から、選考により1～2地区を選出

※防災の必要性など地域特性を考慮して選考

問合先 危機管理課 ☎ (21) 2551

## STEP UP! 一歩進んだ地域の防災のツール

### 「地区防災計画」ってなに？

自主防災組織では、それぞれ作成した「防災計画」をもとに活動を行っています。「地区防災計画」は、より「共助」と「公助」の連携を目指したもので、各自治体が策定している「地域防災計画」を踏まえた上で、地域でどんな防災活動をするのかを定めた行動計画です。

国では、地区防災計画の普及啓発のため、さまざまな事業に取り組んでいます。

### 出前講座を行っています

市では、自主防災組織の結成を検討する団体を対象に出前講座を行っています。自主防災組織の活動や結成の仕方などを、約1時間で講義します。

また、市ホームページから、結成の際に必要な書類の様式や、規約・防災計画の例などをダウンロードすることができます。ぜひご活用ください。

栃木市 自主防災組織 検索

問合先 危機管理課 ☎ (21) 2551

## 特集2

## 地域×防災 安心して暮らせるまちへ

# 自主防災組織をつくろう！



近年、全国的に多く災害が発生する中で、あらためてみんなで助け合う地域の力が注目されるようになってきました。自分達の地域は自分達で守る＝「共助」のための組織、自主防災組織の活動が、各地で活発に見られるようになってきました。

危機管理課 ☎ (21) 2551

## 自主防災組織ってなに？

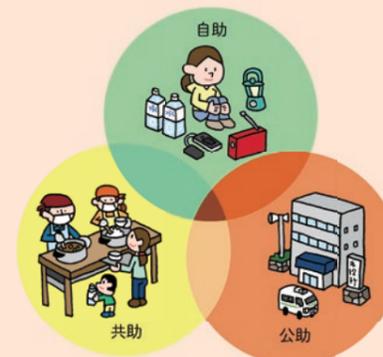
地域の防災活動をみんなで協力して行うために、地域の住民が自主的に結成する組織です。栃木市では、自治会の中の防災部門として設立しているところが一般的ですが、他の地域ではマンションの管理組合や学校区ごとに設けている場合もあります。



## どうして自主防災組織が必要なの？

多くの場合、災害は同時に広い範囲で起こります。そのため、消防や警察、市の支援などの「公助」の力だけでは限界があります。自分で自分を助ける「自助」だけでなく、地域で助け合う「共助」ができるかどうか、災害の被害を最小限にする重要な力となります。

栃木市の現在の組織数は市内全域で63団体。自主防災組織の結成が喫緊の課題となっています。



## どんなことをするの？

自主防災組織の活動は、大きく2つに分けることができます。災害を防ぐための「平常時の活動」と、発災時に被害拡大を防ぐ「災害時の活動」です。一般的には、組織の中で班を編成して、役割分担をして行います。

### 平常時の主な活動



### 災害時の主な活動

